

地域調査法 IIF

2 単位 (選択) 2 年 (後期)

樋口 直人・准教授 / 社会創生学科

【授業目的】 この講義では、前半で調査に関する基本的な知識と考え方を講義し、後半では移民の宗教とネットワークに対する調査の代表的なものをいくつか取り上げ、その問題設定と具体的な調査方法との関連をみていくこととする。

【授業概要】 樋口がこれまで行ってきた調査事例を適宜取り上げつつ、調査の目的・方法・マナーなどについて解説する。後半では、以下の2つを中心に講義と購読により授業を進めていく。①移民の組織に関する代表的な研究を紹介し、日本での代表的な文献を読む。ライフヒストリー論の問題関心とその方法論的特徴を解説し、購読を通じて理論と調査を架橋する。②エスノグラフィ的な移民研究を紹介し、移民現象を生身の人間の織り成す舞台として捉えるアプローチ方法を学んでもらう。古典的な研究を購読することで、その面白みと実際の方法論について学んでいく。

【履修上の注意】 前期と連続した内容であるため、基本的に後期のみ受講は認められない。どうしても受講したい場合にはあらかじめ相談されたい。

【到達目標】 調査に際して必要な素養を身につける。

【授業計画】

1. オリエンテーション
2. 移民研究の調査手法と代表的な研究成果:どのような方法により何を明らかにするのか?
3. 移民調査の目的:移民—組織—近隣住民の何をどのようにして明らかにするのか
4. 移民調査の方法:ネットワーク論, エスノグラフィ, インタビュー
5. 調査倫理:対象者との関係, データ使用でのトラブル, 移民調査におけるトラブルの事例
6. 質的調査における調査者の立場:対立する争点をめぐる羅生門問題, 分析者の位置取りなどの解説
7. 調査の実例と方法:講師自身の調査と早稲田大学グループによる調査手法とインタビューデータから解説
8. 移民に対する世論調査データ:データの種類と入手方法, 活用方法の解説
9. 海外における移民への態度の調査:ISSP データの紹介
10. 調査の失敗の事例:広田康生『エスニシティと都市』の調査手法と問題点の解説
11. 移民ネットワークのフィールドワーク (1):樋口直人他『国境を越える』購読と調査手法の解説

12. 移民ネットワークのフィールドワーク (2):樋口直人他『国境を越える』購読と分析手法の解説

13. モスクへのアプローチ (2):早稲田大学グループの調査の概要と方法論の解説

14. モスクへのアプローチ (3):早稲田大学グループによるラポール構築に関する解説

15. 全体のまとめ

【成績評価】 少人数での参加型授業であるため、出席と授業中の報告で評価する。

【再試験】 行わない

【教科書】 樋口直人他『国境を越える』青弓社, 好井裕明・宮内洋編『当事者をめぐる社会学』北大路書房

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218845>

【連絡先】

⇒ 樋口 (1210, 088-656-7200, vyw03403@nifty.ne.jp) Mail

【備考】 隔年開講, 平成 25 年度開講